



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 蛭田 剛
幹事 高橋 伸安
SAA 川口登志雄
広報小委員長 笠間 潤平

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

第 2993 回 例会 令和 6 年 10 月 16 日 (水・曇)

2024 - 25 年国際ロータリーのテーマ
ロータリーのマジック

ゲスト

米山奨学生 金 桐 健 (キム・ドンコン) さん
指導教官 城山 陽宣 (タカノブ) 様

ロータリーソング 我等の生業

ー今月は経済と地域社会の
発展／米山月間ですー
ロータリーの行動規範
長谷川 勉 会員



◎会長挨拶ー蛭田 剛会長

皆さん、こんにちは。本日は米山奨学生の金桐健さんと指導教官をされている城山陽宣先生をお招きして開催させていただきます。後程卓話をいただきたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。先日、石破総理が来るということで見に顔を出して来ました。大変多くの方が集まっていますが、特に印象に残ったのはS Pの数です。安倍総理の事があったのでS Pの数が多かったです。その中で竜太郎君が話をして石破総理が話をされました。やはり石破総理は話が上手で抑揚がうまく、その中で福島復興無くして東北の復興無し。東北の復興無くして日本の復興無し。とおっしゃっていました。そしてララミュウの中の店名を5、6店言って水産物の水揚げ量も話しておりました。地元で水揚げされる魚をドンドン活用していかなければと改めて感じました。いわきで取れた魚を私の所でも出していかなければと感じました。見に来ていた方も若い方が大勢いらっしゃいました。ロータリーも若い人に世代が替わり私以外も経験年数が少ない方が会長になっていきます。経験が無いので諸先輩の皆さんのお力をいただきながら勿来ロータリーをやっていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

◎幹事報告ー高橋伸安幹事

・国際ロータリー事務所より 2027 - 28 年度ガバナー

選出の件、第2回インターアクトクラブ顧問連絡協議会報告の件が来ております。

- ・米山記念奨学会より「ハイライト米山」が来ています。
- ・勿来授産所より「授産所だより」が届いています。
- ・第7回チャリティーコンサート協力依頼の件について届いています。回覧致します。
- ・20日(日)は観月家族例会がやまたまやさんで16時から行われますので遅れないように宜しくお願いします。また、10月26日(土)は猪苗代湖の水草除去作業を予定しています。詳細は参加者へメールしますので宜しくお願いします。地区大会が11月3日に予定していますが参加者に詳細をメールしますので宜しくお願いします。

◎各委員会報告

◇出席・スマイル委員会ー星 行夫小委員長

- ・本日の出席状況は下記の通りです。
- ・米山奨学生金桐健さん、指導教官城山陽宣先生の卓話を歓迎して。蛭田(剛)会長、鈴木(敏)副会長、高橋幹事、吉野(嘉)副幹事、鈴木(雅)、星、木幡、高萩、吉野(彰)、長谷川、清水、大友、大平、渡邊公平パストガバナー、柏原、渡邊(芳)各会員
- ・前回休んでごめんなさい。 木幡、大友各会員
- ・出席奨励賞ありがとうございました。 嵐会員

◎卓話者紹介ー星 行夫会員

今月は米山月間ということで米山奨学生金桐健さんの卓話をいただくことになりました。その指導教官であります城山先生にもお話を伺いたいとお電話をいたしましたら快く承諾をしていただき本当にありがとうございます。金さんは10月10日に浪江で素晴らしい卓話をして参りました。今日は2回目です。大変素晴らしいものと期待しております。どうぞ宜しくお願いします。

◎ゲスト卓話

東日本国際大学

経済経営学部准教授

城山 陽宣 様



只今、ご紹介をいただきました
東日本国際大学経済経営学部准教授

の城山陽宣と申します。専門は中国思想史です。まず、最初に金桐健さんがロータリークラブでお世話になっておりますことを厚く御礼申し上げます。実は私は留学生のゼミ生を何十人も受けもちロータリアンになった方も何人かいらっしゃいます。私の個人的な話になりますが、いわきに来て12年目になります。また、子どもの頃1年間いわきにいたことがあります。場所は湯本です。今はハワイアンズと言っていますが当時はハワイアンセンターですがそこで遊んでいる写真も残っています。ロータリーさんの米山奨学生への活動は本当に素晴らしいと思っています。毎回出させていただく度に強い敬意を憶えています。留学生を昔から応援されていることに熱いものを感じています。私自身も実は留学経験者です。2001年から2003年の間に北京大学に留学しておりました。日本と中国が互いに留学生を支援し合う事業で、日本人の場合は中国政府留学金に通りお世話になりました。その国際交流からいろいろなことがわかります。私自身出身は岡山ですが岡山にいた時、関西にいた時は韓国人の方は苦手だなと思っていました。ところが中国に行くと韓国の方が優しくしてくれました。助けて下さりました。その交流でわだかまりがなくなりました。金桐健さんについて話をしますと、金さんは優しい心を持っていて後輩思いで温かい心を持っていて努力家です。本

日の金桐健さんの卓話を楽しみに私も聞かせていただきたいと思います。

◎ゲスト卓話

米山奨学生 金 桐 健 さん



皆さん、こんにちは。東日本国際大学4年の金桐健(キム・ドンコン)と申します。内容は、留学の動機、留学を通じて感じた事、

BBS活動、ロータリー活動と未来になります。私は中学の時テレビで日本の旅行番組を見ました。北海道の函館へ行く内容でしたが函館はロシアやヨーロッパの雰囲気もありました。その時両親が日本に旅行へ行ってみるかと言われ中学校3年生のとき日本語の勉強を始めました。ひらがな、カタカナから勉強しました。韓国人には日本語が1番スムーズに身に付く言語と言われていますが直接勉強してみたら大変難しかったです。ひらがなとカタカナを勉強してから高校1年生を控えた冬日本に来ることが出来ました。4日間の日程で2日目にはディズニールンドヘガイドさんと行ってホテルに戻る予定でした。心配しましたが日本の方が優しく手伝っていただき順調に旅行することが出来ました。緊張の気持ちがいつの間にか楽しい気持ちになったのを今でも記憶に残っています。この旅行をキッカケに日本という国に関心を持つようになり、高校を卒業してから日本留学を始めました。日本留学を準備する課程で日本語の勉強が始まり大変でした。憶える漢字が難しく単語と表現が多すぎて大変でした。留学をやめるか3日間悩んでまた留学試験に最善をつくして頑張りました。韓国でも家族と離れたことの無い私に留学は大きな挑戦でした。留学を始めた1年目は大変でした。留学生活は予想したことと違いましたし、寂しさと空しさが波のように押し寄せて来ました。しかし、もう1度考え直して出来るという自信と自立心を持つようになりました。2年生になりコロナ禍の中、何が出来て何をすれば良いか考え努力しました。先月の米山記念館研修旅行は忘れることが出来ない時間でした。奨学生制度の歴史を勉強することが出来ました。

出席状況	正会員数	39名	カード出席	3名
	本日出席会員数	23名	本日の修正出席率	72.22%